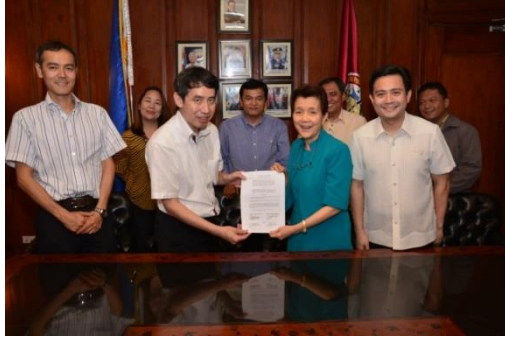


## フィリピン、南メトロマニラ最大の総合私立大学 パーペチュアル・ヘルプ大学(UPH)との共同科目 「Entrepreneurship in Asia」(使用言語:英語)実施レポート

BBT大学(BBTU)とUPHは、2015年9月に提携を発表し、2015年11月に共同科目「Entrepreneurship in Asia」を開講しました。初回となる今回の科目にはUPH生13名、BBTU生6名が履修し、2015年11月にスタート。2016年2月、無事に終了した本科目は全て英語で実施。BBTUのオンライン教育プラットフォーム「AirCampus®」上でBBTUとUPHの学生が混合のグループとなってアジアでのビジネスプランを作成しました。2016年2月にフィリピンのUPHで行われたワークショップでは、各グループのプレゼンテーションが行われました。



2014年10月15日フィリピン パーペチュアル・ヘルプ大学にて行われた調印式の模様



広大な敷地を持つパーペチュアル・ヘルプ大学

### 【本科目のねらい】

起業家の資質や特徴などを理解し、アジア地域においてビジネスを行う、ベンチャー企業を立ち上げることのできるスキルを身に付けることを目的とする。また、国や年齢等バックグラウンドを異にする学生との合同グループでの協働作業を通して、異文化間でのコミュニケーションやリーダーシップのとり方についても学ぶ。

This course discusses the nature, concepts, principles and practices as Asian entrepreneur. It focuses on the development of entrepreneurial skills of the students to engage in to entrepreneurial ventures. The discussion includes the developing entrepreneurial mind-set, developing entrepreneurial skills, studying the different functions of entrepreneurial management in Asian environment. Likewise, the students will learn to prepare the business plan for entrepreneurial venture considering the assessment of emerging markets, development of products, capital investments, managing the marketing functions and the accounting and finance practices in entrepreneurial ventures in Asia. (英文はシラバスより抜粋)

### 【科目概要】

- ◆概要: 2015年11月17日～2016年2月23日 / 3年次対象 / 4単位
- ◆担当教授: 伊藤泰史 (BBT大学副学長・経営学部教授)

### 【共同授業の仕組み】

本科目は、オンラインでの講義受講とディスカッションがベースとなっており、科目の最後にはフィリピンで行われるワークショップへの参加が必須となっている。スケジュールにはライブ講義も組み込まれており、オリエンテーション、ビジネスアイデアのまとめ方の説明、中間フィードバックがライブで行われる。

ライブ講義ではUPHの教室と、BBTU校舎、遠隔から参加するBBTU生の自宅やオフィスなどをつなぐ。BBTU生は、関東、東海、中国の上海など多岐にわたるエリアの履修者がいた他、BBTU小林准教授も現在起業しているシンガポールから参加するなど、非常に国際色豊かな講義となった。使用言語はすべて英語。

### 【授業内容】

本科目では、UPHの学生とBBTUの学生が5-6名の混合グループになって、アジアで事業を立ち上げることを想定してビジネスプランを作成する。いくつかの講義を動画で受講した後で行われたライブ講義では、グループ分けの発表があり、各グループに以下の課題が提示された。

#### ◎課題:

- 特定のアジアの国に輸出することを想定し、フィリピンもしくは日本に既に存在している商品をピックアップする
- 特定のアジアの国で販売するために、商品の開発もしくは改良を行う

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ビジネス・ブレイクスルー PR担当 袴田 TEL:03-6271-0757 FAX:03-3265-1381 Mob:050-3396-2129

グループごとにAもしくはBを選択し、BBT大学のオンライン教育プラットフォームであるAirCampus®などを利用してディスカッションを続けた。並行して、各学生がアントレプレナーに必要な要素、アジアのビジネス環境と成功要因、マーケティングや財務等、ビジネスプラン作成や英語でのプレゼンテーションに必要な内容の動画講義を受け、プランを作りこんでいく。例えば、あるグループではまずアジア各国の課題を議論し、人口動態などを鑑みたビジネス的な将来性の有無が検証された。さらに、そこでの課題を解決するための商品の開発を検討、ビジネスとして成立させるための方法を検討するという形で議論が進んでいった。

参加学生の年齢は、UPHの学生が平均20歳前後と若いのに対し、BBT大学は20代～50代と幅広く、全体として社会経験やバックグラウンドなどが非常に多様な集団であるといえる。さらに、年齢だけでなく、言語、文化も異なる者同士が集まって真剣に議論を交わすという点が本科目最大の特徴である。全て英語で行われるディスカッションを通して、グローバルな環境の中でビジネスを行うということを疑似体験しながらチームで一つのプランを作り上げることで、柔軟に対応する力、あきらめないタフな精神力、人と交渉し人を動かすことなどを実体験として学びとってほしいというのが両大学の狙いだ。

## 【ワークショップ】

講義の最後には、3日間のワークショップがフィリピン、UPHで行われた。2月11日～14日の日程で行われたワークショップでは、各グループが作成したビジネスプランのプレゼンテーションも含まれる。

### ・Day1

オープニングセレモニー、懇親会。BBTUの学生を迎え入れるUPHの学生が準備を行い、温かく迎え入れてくれたのが印象的だった。BBTU生は先方のもてなしに感激するとともに、今回ターゲットマーケットとして想定しているアジア、フィリピンの国民性の、日本との違いを感じていた。



◀  
【Day1】  
オープニング  
セレモニーの  
様子



◀  
【Day1】  
フィリピンの  
伝統的なダン  
スを披露す  
るUPHの学  
生。BBTU  
の学生も飛  
び入りで参  
加。



◀  
【Day1】  
なごやかな  
ムードの懇  
親会



◀  
【Day1】  
出しものや会  
話を楽しむ  
学生たち



◀  
【Day2】  
最後の仕上  
げを行ったグ  
ループワーク



◀  
【Day2】  
試作品の  
ドーナツを作  
るグループ

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ビジネス・ブレイクスルー PR担当 袴田 TEL:03-6271-0757 FAX:03-3265-1381 Mob:050-3396-2129

## ・Day2

グループごとにビジネスプラン作成を行った他、フィリピンの起業家、アジアで起業しているBBTUの教授も参加し、それぞれが手がけるビジネスや起業における自らの哲学を紹介するプレゼンテーションも行われた。

### ◎ゲストプレゼンテーション

#### 〈Mr. Eugene Sergio T. Naguiat〉

Naguiat氏は、幼い頃から自身でお小遣いを「稼ぐ」ことが習慣であり、大学入学当初には生産者と消費者を直接結ぶビジネスを行っていた。そこで追求していたのは“いかに社会的に弱い立場の人を助けられるか?”。

その後、20歳で実父が立ち上げた会社を継ぎ、2000年から徐々にビジネスを拡大。個々のお客様のニーズを捉え必要なサービスを提供する、細やかなCRMをビジネスのキーに、現在では自動車整備事業のフランチャイズ展開(18店舗)、および子会社か運営する店舗(6店舗)の経営指導をするまでに成長させた。

このような経験から得た起業家の特徴やスピリットなどについて暖かい人柄あふれる言葉で語っていただいた。起業家のイメージを”Two feet on the floor give you stability. One foot raise gives you unstable, but flexibility to move forward.”と語り、まず、人のために何ができるかを考える、その後、商品を考える! やったことがないことに対して怖がらないことが重要と締めた。

#### 《プロフィール》

アテネオ・デ・マニラ大学卒業。President/ CEO, Motech Automotive Education Center, Inc. President/CEO, Magnificent'7 Automotive and Franchising Company, Inc. フィリピンにて自動車整備事業を営むモーテックグループCEO。今後のASEAN地域におけるビジネス展開を見据え、(株)オートボックスセブンと2016年1月に資本・業務提携。金銭的な事情で学校に通えない若者に自動車整備を授業料なしで教える学校も運営する社会起業家でもある。



#### 〈小林慎和BBT大学准教授〉

「How to be innovators?」

シンガポールで起業している小林慎和BBT大学准教授が講演を実施。

これまで欧米、アジア、アフリカなど17カ国において富裕層から貧困層まで幅広い層をターゲットにしてきたビジネス経験、NGOでの活動経験を持つ。現在は、アジアにてコンサルティングビジネス、モバイルサービス、ECサイト、レストラン事業など幅広く展開し、未来のイノベーターを創出するイベントも主催、そこから学んだことをリアルに本講義で紹介。

どうしたらイノベーターになれるか?という問いに対し、答えは”Just do, and improve every moment” 今すぐに始めること。そして、常に改善しつづけること。という強いメッセージを学生に伝えた。

#### 《プロフィール》

大阪大学大学院情報科学博士課程修了、同大学在学中に摂南大学工学部非常勤講師を2年、工学博士取得後、野村総合研究所の経営コンサルティング部門に入社。情報通信業界の企業に対して経営コンサルティングサービスを10年提供。その後グリーにて海外展開を推進し、2012年シンガポールにて起業。現在は、Diixi、Yourwifiなどコンサルティング会社、モバイルサービス事業者、飲食業など5社を創業・経営。他にピッチイベントのthe CHAOS ASIAのエグゼクティブ・プロデューサーも務める。



◀ 明日のプレゼンに向けて各チームプランの仕上げと試作品づくりに取り組んだ



◀ 市内の市場調査も行った

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ビジネス・ブレイクスルー PR担当 袴田 TEL:03-6271-0757 FAX:03-3265-1381 Mob:050-3396-2129

### ・Day3

グループごとに作成したビジネスプランの最終プレゼンテーションが行われた。当日の審査員はUPHのProf. Jay P. Cabrera, CPA, Ph. D他。

#### ◎各グループのビジネスプラン骨子

##### 〈グループA〉

会社名: PHUBIT (「UPH」と「BBT」に由来)

商品名: Bolight

概要: 電気の行き届いていないエリアに、持続可能なエネルギーを利用して電気を届けるための製品を提案。ソーラーパネルを利用してエネルギーを集め24時間明かりをつくることできる、空きホテルを利用して作るライト。

##### 〈グループB〉

会社名: RUN SOLAR

ブランド名: ADLAW CASE

概要: 太陽光を利用してスマートフォンを充電できるスマートフォンケースを提案。既に同様の商品は市場に流通しているが、材料費を抑えることで価格を徹底的に下げることで競争力をつける。

##### 〈グループC〉

会社名: Yasai Doughnut Company

ブランド名: “SaiDo”

概要:

野菜を使った、美味しく健康に良い食品の提供を手掛ける食品チェーンの運営を提案。まずは野菜を用いたドーナツの商品化を検討。



各チーム、自分たちで作成したサンプル商品を持ち込み、熱気あるプレゼンテーションを繰り広げた。続く質疑応答では、審査員の先生方から、コスト見積もりや価格設定、売り上げ計画の妥当性やマーケティング戦略詳細について等、時には厳しく突っ込まれる場面も見られた。実際にアジアでのビジネスを経験された先生たちの質問に学生たちは真剣に回答していた。

#### ◎参加者の声(抜粋)

##### ●BBTU生

・国同士、文化が違う中で、常識の違いを目の当たりにしながらマネジメントの経験ができたという非常に貴重な体験だった。

・文化や言語が異なる状況でのコミュニケーションの難しさを体感することができた。必要ないと思うくらい細かい点まできちんと確認することが必要だと改めて痛感した。

・日本人にとっては当たり前の日常的なことや周囲の人に感謝する気持ちを持っている彼らたちといて、日本では感じられない気持ちを感じることができた。

・今回の科目を経て、今まで勉強してきた縦と横だけの2次元の情報に外という高さの軸が加わり、3次元で見えるようになった気がする。裏や斜め上が見えるような感覚、立体感をもって理解できた感覚を持つことができ、改めて自分と異なる人たちを見ることの重要性を感じた。

#### 【担当教授プロフィール】 伊藤泰史(いとうやすし)教授(BBT大学副学長・教授)

慶應義塾大学卒業後、三菱電機株式会社入社。フォールトトレラントコンピューター基本ソフトウェア開発、ネットワーク基本ソフトウェア開発、及び、流通業、航空業、製造業のシステム構築に従事。1998年ビジネス・ブレイクスルー創業に参画。ビジネス・ブレイクスルー遠隔教育システムーディスタラーニング法(日米特許取得済)ーを設計・開発。衛星放送とインターネットを用いた遠隔教育事業を立ち上げる。その後、豪州ボンド大学と提携したBOND-BBT MBAプログラム、文部科学省認可のBBT大学院(経営学研究科)を2005年に、BBT大学(経営学部)を2010年に立ち上げ、2005年の開学時からBBT大学の副学長に就任。遠隔教育方式で経営学士、MBAの修士号を取得できる大学、大学院の設置は日本初である。この間、同社のIPOの責任者として東京証券取引所マザーズ市場上場を2005年に果たす。大学の設置認可・開学と東証上場を約1年間で実現したのは当社のみである。その他BBTの主要プログラムを立ち上げ、現在、同社代表取締役。2013年に一歳半から高校までの学校アオバインターナショナルスクールを運営する株式会社アオバインターナショナルエデュケーションシステムズを買収し、取締役役に就任。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ビジネス・ブレイクスルー PR担当 袴田 TEL:03-6271-0757 FAX:03-3265-1381 Mob:050-3396-2129